

そば打ち体験楽しむ

鉦路あすなるクラブが例会



そば打ち体験を楽しむ会員

「地元の食材の良さを実感しよう」と、経済研修団体「鉦路あすなるクラブ」(中島康秀会長)のメンバー

1が8日、鉦路市黒金町の松風庵でそば打ち体験を行った。同クラブは毎月の例会で

さまざまなテーマの研修をしているが、この日は「地元摩周そばを知る」と題して実際に会員らがそば打ち体験を楽しみ、摩周そばと更科そばの食べ比べを行った。

講師は松風庵の浅沼広店主が務め、そば粉に水を加えて素早く混ぜ、こねて作り上げるそば打ちを披露。会員らは一つ一つの手順をスマートフォンで記録しながら、講師の手元をじっくりと観察していた。

一連のそば打ちの流れを知った後は、参加者が実際にそば打ちを体験。力の入れ方や手順を何度も確認しながら、手作りの楽しさと難しさを実感していた。

(伊東義晃)